

【2004年度調査報告】

パラオ調査報告

(1)調査目的：ミクロネシア地域における捕鯨文化の調査

上記の目的のために、以下の調査を行った。

(1) ミクロネシア地域における伝統的捕鯨文化に関する調査

捕鯨行為に関しては、現在では実施されていないことは分かっているので、口頭伝承による情報を得ること、ならびに文献資料を得ることを目的とした。

(2) 捕鯨活動の寄港地としてのミクロネシア地域の調査

ミクロネシア地域は、19世紀に太平洋地域で捕鯨が行われた際に、寄港地として利用されているので、寄港地で現地住民とどのような交流が行われたかに関する文献資料を収集することを目的とした。これに加えて、捕鯨文化があり、また寄港地として利用されたミクロネシア地域の文化的背景を総合的に理解することを目的とした。

(3) 太平洋芸術祭に行われる国際シンポジウムへの参加

7月22日から31日まで太平洋芸術祭がパラオで開催され、同時にその一部として国際シンポジウムが開催される。シンポジウムは、太平洋地域の文化に関わる広いテーマが扱われ、その中には太平洋の遠洋航海文化に関するシンポジウムも含まれるので、これらのシンポジウムへ参加し、捕鯨文化に関する知見を得るとともに、関連する研究者との交流を得ることを目的とした。

また、突然ではあったが、現地でシンポジウム発表の依頼があったため、パプアニューギニアに関する口頭発表を行った。

(2)調査地：パラオ共和国

ミクロネシア地域で中心拠点の一つである、パラオ共和国を対象とした（特に首都コロールを中心とする地域）。

(3)調査日程：

2004年7月19日（月）～28日（水）

(4)調査参加者：

豊田由貴夫

(5)現地での協力者：

安井真奈美（天理大学文学部）、須藤健一（神戸大学国際文化学部）

山本真鳥（法政大学経済学部）、窪田幸子（広島大学総合科学部）

以上、現地で調査に同行

(6)調査日誌：

7月19日（月）

10:30 成田発（CO962 便）

15:05 グアム着

コロール行きに乗り換える予定だったが、オーバーブッキングのため翌日に搭乗となる

グアム・ヒルトンに宿泊

7月20日(火)

- 19:10 グアム発
- 20:05 コロール着

7月21日(水)

- 10:00 Symposium Committee の Mr. Tutii Chilton と面会
太平洋芸術祭に同時に行われるシンポジウムの日程について説明を聞く
- 13:00 パラオ国際サンゴ礁センターを訪問
付属の水族館を見学
付属の図書室を調査
捕鯨に関する文献をさがすが、あまり成果はなかった

7月22日(木)

- 5:00 ～ 太平洋芸術祭の開会式を見学

7月23日(金)

- 10:00 シンポジウム' Legal Protection of traditional knowledge and expressions of Culture ' に出席 (Koror State Assembly Hall)
- 13:00 シンポジウム' Natural History ' に出席
(Palau International Coral Reef Center)

7月24日(土)

- 8:30 シンポジウム' Cultural Well-Being and Wealth derived from Natural Resources ' に出席 (Koror State Assembly Hall)
- 18:00 レストランで研究者との懇親会

7月25日(日)

- 10:00 ～ 芸術祭事務局にて、資料収集
- 13:00 ～ パラオ博物館を見学
資料収集を試みるが、あまり成果なし
- 18:00 ～ 芸術祭パーティーに出席

7月26日(月)

- 8:30 シンポジウム' Traditional Navigation ' に出席
(Koror State Assembly Hall)
- 13:30 シンポジウム' Visual Arts ' にて口頭発表
' Art as a Symbol of National Identity: A Case from Papua New Guinea
(Koror State Assembly Hall)

7月27日(火)

- 8:30 シンポジウム' Performing Arts ' に出席
(Koror State Assembly Hall)
- 13:30 芸術祭事務局にて、資料収集
- 23:00 コロール空港へ

7月28日(水)

- 1:45 コロール発 (CO954)
- 4:45 グアム着
- 6:30 グアム発 (CO961)
- 9:10 成田着

(7)現地で知り合った人物リスト(順不同):

Tutii Chilton: Symposium Committee, 9th Festival of Pacific Arts

(太平洋芸術祭の実行委員)

川村千鶴子: 大東文化大学環境創造学部

(太平洋芸術祭のシンポジウムで発表)

上原伸一: 朝日放送東京支社総務部専任部長

(太平洋芸術祭のシンポジウムで発表)

山口修: 大阪大学名誉教授

(太平洋芸術祭のシンポジウムに参加)

ベッドフォード雪子: 摂南大学名誉教授

(太平洋芸術祭のシンポジウムに参加)

Greg Dvorak: PhD Candidate, The Australian National University

(太平洋芸術祭のシンポジウムに参加)

Ilikomau Ali: Policy Analyst, National Cultural Commission, Papua New Guinea

(太平洋芸術祭のシンポジウムに参加)

Nelson E. Paulias: Tourism Executive Officer, East New Britain Provincial Administration,
Papua New Guinea

(太平洋芸術祭のシンポジウムに参加)

三田貴: 在パラオ日本国大使館専門調査員

(ハワイ大学大学院政治学研究科博士課程在学)

三田牧: ベラウ国立博物館客員研究員

(京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程在学)



写真1 パラオ国際サンゴ礁センター



写真2 Traditional Navigation のシンポジウム



写真3 シンポジウム Visual Arts における豊田の口頭発表

(文責 豊田由貴夫)